

令和3年度京都府PTA指導者中央研修会（実施報告）



日時 令和3年7月13日（火） ※動画配信 令和3年9月27日（月）～11月1日（月）
会場 国立京都国際会館

今年度（令和3年度）、京都府PTA指導者中央研修会は新型コロナウイルス感染症対策として人数を制限し、開催時間を短縮するなどして実施しました。

スローガン

「今、あらためて考える家族の絆」

～コロナ禍だからこそ家庭・学校・地域がつながって～

◇内容

（1）実践発表

「持続可能な活動のために ～役員体制・役員選出方法の変更に関する実践事例～」

発表 京丹後市立丹後中学校PTA

（2）講演

「ネット社会だからこそ必要なこと ～子どもと向き合い、会話を重ねて～」

講師 NPO法人奈良地域の学び推進機構 理事
京都府警察ネット安心アドバイザー
石川 千明 様



会場の国立京都国際会館には500名近い参加者がいました。また、参加いただけなかった会員の皆様にも研修の様子を共有していただけるよう、動画配信も行いました。



再生回数は1200回を超えており、多くの方に御視聴いただきました。御参加、御視聴された会員の皆様ありがとうございました。研修で学ばれたことをぜひ、これからのPTA活動や家庭教育に生かしていただきたいと思います。

感想紹介

役員体制の規模縮小は不可避でも、質は担保できると思った。

今まさに必要なことであると、動画を何度も止めながら興味を持って視聴させて頂きました。漠然とした、どこか他人事だったことが、これからはただ使わせないと遠ざけるのではなく、正しい関わりかたを知れたのと同時に、何よりも家庭での親子での関わりを意識して密度を濃くしていけたらと思いました。

これからの時代を賢く生きる上で、大切なことがたくさん含まれている内容でした。

変化、時代の流れに対応していくことの大切さ、また工夫をすることが子どもたちのことを大切に思う行動につながり、親になって、自分が子どもの時にもたくさんの大人が見守ってくれていたことを強く感じました。

年々進んでいくネット社会と上手く付き合っていくために、まずスマホを一旦置いておき、子どもとしっかり向き合って話をするのが大事だと言う事を教えてもらえた。

我が子もいつかは携帯を持ち SNS の世界に必ずいきます。その時のために幼稚園の今からでも使い方やこんなことが起こるなど会話をたくさんしていこうと思います。

ネット社会について話を聞く機会ができてよかった。親が子どもと関わる大切さ、PTA活動にも生かしていければと思います。